

# 平成 30 年度 里地里山保全利活用専門部会 取り組みについて

## 検討事項

### (1) 今年度の取り組みについて

- ・各取り組みの実施内容等の確認

### (2) その他

## 里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり

### ■実施概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒川地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施</li> <li>・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定</li> </ul> <p><b>目的</b></p> <p>【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用          【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流          【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり</p>
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>主催：川崎市みどりの協働推進課          協力：黒川竹行燈の会、明治大学          対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>
<b>実施内容</b>	<b>実施日</b>	・竹行燈づくり：平成 年 月 日（ ）収穫祭
	<b>実施場所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹の伐り出し：黒川地区内緑地</li> <li>・竹行燈づくり：農業用管理倉庫</li> </ul>
	<b>周知・PR</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻生区内小中学校へのチラシの配布</li> <li>・区内庁舎でのチラシ配布、ポスター掲示</li> <li>・町内会掲示板のポスター掲示</li> </ul> <p>【チラシ配布】全 部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機関： 部</li> <li>・町会： 部</li> <li>・学校： 部</li> </ul>
	<b>内容</b>	<p>①竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小中学生と竹行燈を作る。（制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。）</li> <li>（今後に向けて：制作した竹行燈を汁守神社の参道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげていくことを検討。）</li> </ul> <p>②里地里山の保全活動に対する意向調査（保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。</li> </ul>
<b>予算等</b>		チラシ印刷費、材料費等

## 里-2 里山保全活動体験

### ■実施概要

<b>概要・目的</b>		<p><b>概要</b> 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p><b>目的</b> 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>
<b>実施体制、対象者等</b>		<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者：地元住民、他</p>
<b>実施内容</b>	<b>実施日</b>	平成 年 月 日（土） : ~ :
	<b>実施場所</b>	黒川よこみね緑地
	<b>周知・PR</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（里－1）竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ</li> <li>・区内庁舎でのチラシ配布</li> <li>・市政だよりでのPR</li> <li>・他のボランティア活動でのチラシ配布</li> <li>・「緑と道の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ</li> <li>・明治大学収穫際PRブースでのチラシ配布</li> </ul>
	<b>内容</b>	<p>◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。</li> </ul> <p>◆活動のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。</li> <li>・散策路周辺のササを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。</li> <li>・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。</li> </ul>
	<b>予算等</b>	チラシ印刷費等